



# マイロード

第494回  
2022年4月17日

主催/新日本スポーツ連盟横浜市連盟・よこはま月例マラソン運営委員会

## ウクライナに青空と麦畑を！



### 【3月月例マラソンでウクライナ支援を訴える】

ロシア政権のプーチンによるウクライナ侵略に怒りと恐怖を感じます。ロシア軍は人間を標的に殺りくしています。国連憲章、国際法、人道法に反する行為で許されるものではありません。戦争の行きつくところが核戦争です。武力対武力で紛争は解決しません。惨事便乗の「核共有論」や「敵基地攻撃能力」保持が言われていますが、核兵器の存在で戦争を抑止することはできません。

日本国憲法前文に「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」とあります。「平和を愛する諸国民」と連帯し、国際世論でプーチンを包囲し、戦争を終わらせることが強く求められます。そうした意味でも改憲も核保有も許さない声をあげなければなりません。月例マラソン運営委員会は3月20日の月例マラソンで「ウクライナ支援募金」を訴えました。参加者から寄せられた11万円を超える募金は全額、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）に送りました。一日も早いウクライナに青空と麦畑を！（康）

### ◇世界同時マラソンVIVICITTA`を開催◇

例年は4月第二日曜日に開催してきましたが、会場の関係で4月9日の土曜日に開催しました。ついこの前まで満開だった桜も風が吹くたびに花吹雪でとても綺麗、でも気分は満開です。予定通り9時30分に1kmからスタート、年齢が4才から79才と幅広い参加となりました。3kmは9時45分スタート、メインレースの12kmは10時15分にスタートしました。天気にも恵まれ、皆さん気持ちよく走れたと思います。ビビチッタはイタリアスポーツ連盟（UISP）が主催する「世界同時マラソン」。平和を愛し、健康を願い、環境保全を志す人は誰でも参加できる大会です。



### ☆鳥の季節もすっかり春☆

3月に実施したミニバードウォッチングは総勢8名。鶴見川の水面を見渡すと、2ヶ月前と同じくオオバンが多い。近くの水際をちょこちょこ歩くのはイソシギです。海外から？参加の方もいらっしやうて「ヒヨドリは英語でブルブル」などで盛り上がりしました。そして、空を飛ぶツバメに春の到来を実感。さて4月はどんな鳥が見られるか。どうぞお気軽にご参加ください。



### 毎月第3日曜日・午前8時30分スタート

|      |                                                                                                |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 種 目  | 1 km 3 km 5 km 10km 20km (20kmは6~9月お休み)                                                        |
| 受付時間 | 現地にて午前7時50分から10時まで受付。＜棄権の受付も10時までです＞                                                           |
| スタート | 1km-小学生以下/8:30 一般8:50 5km/9:10 20km/10:00 10km/10:05<br>3km/10:10 (スタート時間、種目は状況により変更することがあります) |
| 参加費  | 初参加は1500円 (2回目から大人1,000円・高校生以下は500円)                                                           |
| 記録表彰 | 希望者に記録証(速報を掲示)、翌月掲示版にて発表。<br>ホームページにて全記録を発表。WEBでの速報が携帯から。                                      |
| 連続賞  | 10、20、30、50、75、100回(通算は20回のみ)                                                                  |

次回は第495回 2022年5月15日

＜ボランティア募集＞①ランナーの立場に立ってサポートできる。②毎月第三日曜日に参加できる。この二点が条件です。参加された場合、交通費として、3,000円をお支払します。受付まで。



新日本スポーツ連盟 横浜市連盟

〒221-0045横浜市神奈川区神奈川2-14-16 トーリックビル3F  
TEL045-534-5553 FAX045-534-5554

## \*\*\* 今月の表彰 \*\*\*

## \*連続100回参加賞 月例年間パス

No.10855 坂入 由仁(12)

## \*連続75回参加賞 別製ランニング

No.14263 森 佳輝(10)

No.14471 大木 彰(60)

No.15513 亀倉 渚(11)

No.15573 永井 啓介(57)

## \*連続50回参加賞 選択制

No.6283 伊田 要(55)

No.19064 伊田 元気(10)

No.19066 田筆 大真(8)

No.19072 中村 侑芽(10)

No.19074 森田里奈子(50)

No.19177 古郡 圭一(58)

## \*連続30回参加賞 選択制

No.18554 鈴木 直美(58)

No.21337 田畑 実代(50)

## \*連続20回参加賞 選択制

No.2167 山田 一雄(51)

No.14760 高瀬研以智(39)

No.15119 挟間 優佳(37)

No.21605 中村 岳征(62)

No.22472 浜崎 彩羽(8)

No.22475 山田 良信(45)

No.22500 佐藤 祐大(7)

No.22529 佐伯 孝志(49)

No.22554 久木 日菜子(5)

## \*連続10回参加賞 ランニング

No.2634 長瀬 基良(49)

No.20791 門脇 春希(6)

No.21561 小窪 奏翔(7)

No.22341 阿由葉 楓(5)

No.22465 小窪 梨央(5)

No.22713 前川 憲司(58)

No.22714 前川 陽子(51)

No.22990 正戸 知穂(48)

No.22991 正戸 大暉(8)

No.22992 西田 吉男(41)

No.22995 荒井 架(7)

No.23002 細野 晃史(45)

No.23007 清水 杏美(4)

No.23012 小金井聡実(2)

No.23013 吉田 翔貴(4)

No.23016 関 陽向(7)

No.23025 池田 千穂(54)

No.23031 鈴木 智紘(44)

No.23037 木村 藍生(30)

No.23038 高瀬 瑞央(4)

No.23039 土師 俊幸(62)

No.23041 鈴木 拓真(20)

No.23042 鈴木 美桜(11)

No.23043 三原 功己(12)

No.23049 本多 裕(61)

No.23058 斎藤 俊介(43)

No.23059 遠藤 寿貞(48)

No.23064 相澤 秀幸(50)

No.23065 綱嶋 理江(53)

No.23078 光井 秀樹(60)

No.23080 熊澤 直子(55)

No.23081 服部 麻友巳(52)

No.23082 平松 友季(51)

No.23084 菱川 英宜(58)

No.23086 山本 望夢(32)

No.23090 池田 良司(65)

No.23096 田中 恵里(31)

No.23098 飯田 和秀(42)

No.23108 長谷川 文明(52)

No.23111 新名 泰典(46)

No.23112 新名 莉子(11)

No.23113 新名 眞子(8)

No.23114 斎藤 百華(11)

## \*通算20回参加賞 ランニング

No.6158 加藤佳代子(49)

No.15739 秋山 一(64)

No.16288 伊原 享(44)

No.20495 杉山 佳世(47)

No.21750 森山 湊未(6)

(敬称略)

◎連続と通算は重複しません。

## フォト・インタビュー

ウクライナへのロシアによる軍事侵攻真ただ中での月例開催だったので、ウェアやシューズがウクライナの国旗の色(青・黄)の方にお話を伺いました。(ホームページならカラーで見られます) みなさん偶然その色だったのですが、快く応じてくれました。そしてみなさんには「スポーツと平和」について考えていただきました(\*印)。

No.17980 中井 哲男さん(55才) いつもコンスタントに快適に月例を走っているそうです。「走りやすいですね」と。これからの予定では、フルマラソンには年1回ぐらいは出たいと思っているけれど、エントリーしていたバルセロナがコロナ禍で中止になってしまい、本当はいろいろ出たいけれどなかなかうまくいかないとのことでした。



\*「平和ありきで、イベントは平和からできるので、ありがたいと思う。」

毎日ニュースを見ていて心が痛いですね。」と中井さん。当たり前と思っていることがそうではないということを私たちはしっかり認識する必要がありますね。

No.23049 本多 裕さん(61才)

よこはま月例は、時間的にも距離的にも融通が利くので非常に気に入っていて楽しみにしているとのこと。普段は新横浜公園や日産スタジアムのあたり中心に練習しているそうです。大会の予定は全部中止になってしまっているけれど、2週間前に東京マラソンで給水ボランティアとして参加したことはとてもいい経験になったとのこと。来年はランナーとして走りたいですね、と。



\*「スポーツに限らず平和は何に対しても優先するべき。スポーツを通じて世界平和、世界が開けるきっかけになればいいのかなと思っています。そういう活動をされている方に賛同したいし、敬意を表したいと思います。」と本田さん。ランナーとしてその一人になればたら素敵ですね。

No.15773 岩崎 一朗さん(53才)



月例には4・5年ぐらい参加していて、コースはフラットで走りやすく、タイムトライアルにはちょうどいいそうです。普段は鶴見川の下流側で練習しているとのこと。

今後の大会予定はしばらくないけれど、秋の大会を目指してトレーニングを積んでいこうと、その間は月例マラソンで走っていくそうです。

\*「ランニングでいえば個人の闘いで、たまたま隣に競い合う人がいて、それは争うわけではなくお互い切磋琢磨している良いライバルだと思う。そういう意味では平和な感じがする。互いにスポーツマンシップを発揮して最後讃えあうとかいうのはすごくいい。月例マラソンでも讃えあうようなことはよくありますし。」と岩崎さん。プーチン(ロシア大統領:柔道をやる)を月例マラソンに招待したらいいね、という話も出てきました!

◆お詫び◆3月の月例マラソンでインタビューに応じていただいた、No.14251 高鳥修一さんの記事は紙面の都合で来月に掲載いたしますので、ご理解願います。

【編集後記】スポーツと平和—この問いに答えてくれたみなさん、ありがとうございました。

一人一人と世界つながっているんだよな、と改めて思いました。世界中に平和を! NO WAR! (よしえ)